

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

***本田乾板(Nova Aql 1970)2枚収蔵**

国立天文台天文情報センター・アーカイブ室では国立天文台の旧図書館(昭和5年(1930年)建設)の1階に保管されている古い天体写真乾板等の整理を進めている。この作業の一環の中から昭和20年2月の本館消失で失われたと思われていた100年以上前に撮影された写真乾板が発見され、日本人最初の小惑星発見の写真乾板が出てくるという大きな発見もあった。天体写真乾板の整理は佐々木君、大島君が進めており、筆者はこの物置状態の棚から確たる資料とも思えない雑物の整理を引き受けている。今回は**本田乾板 2 Plates Nova Aql 1970**と書かれた印画紙の箱(写真1)の乾板2枚を収蔵した。

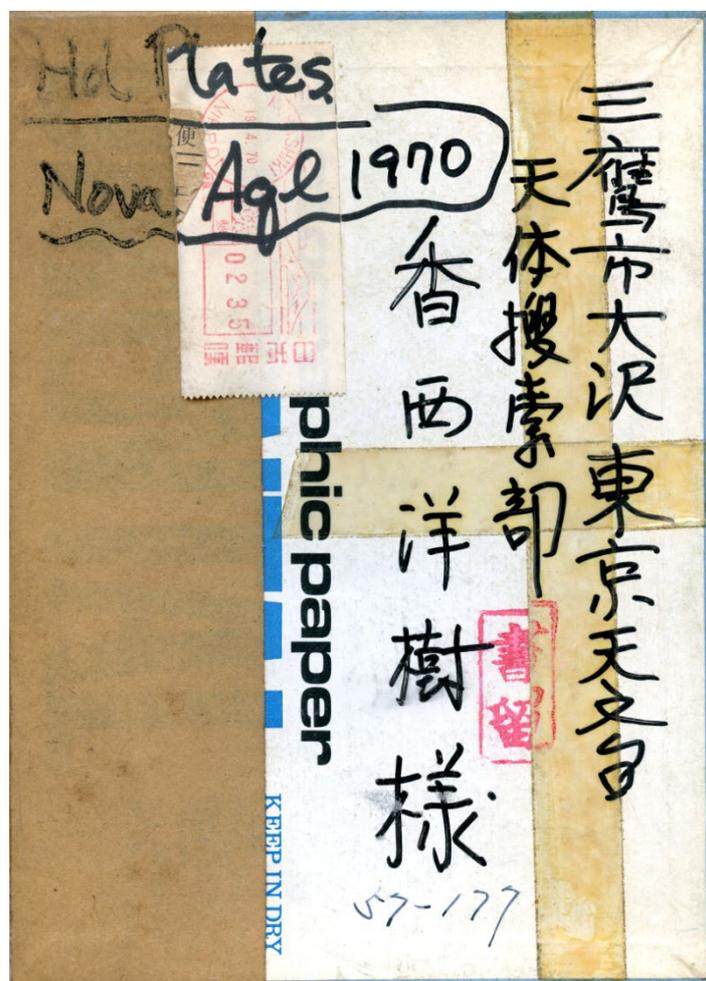


写真1 乾板が送られた印画紙の箱

今回も入っていた乾板は2枚である。乾板の袋には、1枚には、12 わし、1970年4月8日撮影、撮影時刻は3時19分~26分(露出時間は7分ということになる)、2枚目に

は 12 わし、1970年4月15日撮影、撮影時刻は3時50分～56分（露出時間は6分ということになる）、 α 19時22分10秒、 δ $+4^{\circ} 12'$ Mag=8mというメモがある。

1970年4月15日の乾板が写真2である。その印の部分の拡大が写真3である。

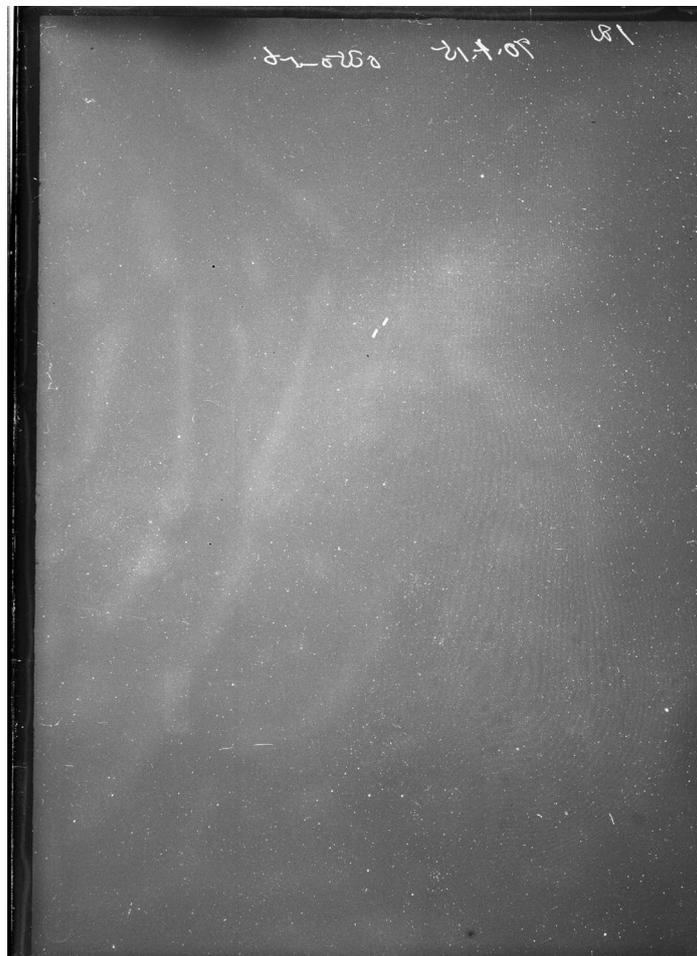


写真2 1970年4月15日の乾板

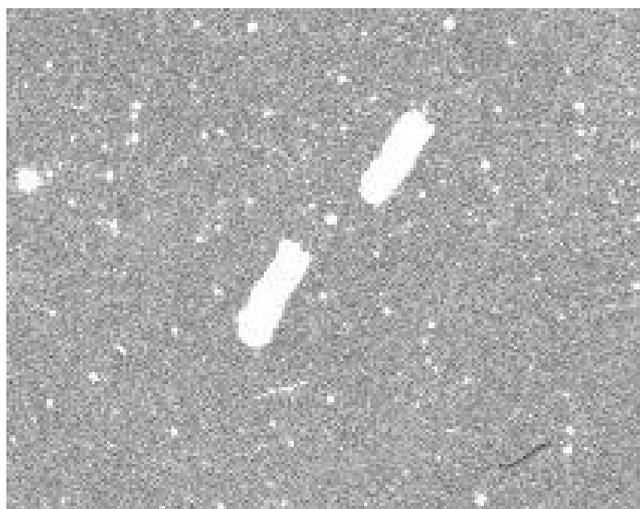


写真3 1970年4月15日の乾板の印部分の拡大

1970年4月8日の乾板の写真3の部分が写真4である。

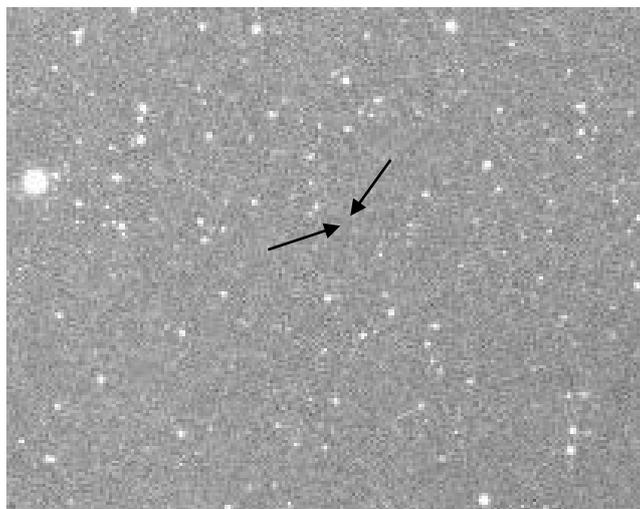


写真4 1970年4月15日の乾板の印部分の拡大

写真3の乾板上の白い太い線の間にある星像が、1970年4月8日の乾板のの拡大写真4のその位置（→の間）にはないことが分かる。4月8日と4月15日の間に増光したということであろう。

今日は、2012年8月15日である。これらの乾板が撮影されたのは1970年4月である。42年前の乾板で現在も Nova Aql 1970 の出現の確認が出来る。やはり乾板は保存していくに限る。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp